

令和5年度逗子市療育推進事業検討会 次第

日時 2023年(令和5年)7月24日(月)

10:00~

場所 療育教育総合センター 3階

教育研究相談センター研修室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 逗子市こども発達支援センター令和4年度事業報告及び運営改善案への取り組みについて

4 その他

5 閉会

逗子市療育推進事業検討会名簿

2023年（令和5年）6月1日現在

	所 属 等	氏 名
1		山本 啓一
2	公募市民	柳下 枝里
3		村松 直浩
4	逗子市手をつなぐ育成会	渡部 有美
5	逗子市自立支援会議	(福)湘南の風支援センター風 施設長 新井 宏二
6	逗葉私立幼稚園協会	聖マリア幼稚園 園長 森 莊一
7	逗子市保育施設連絡協議会	湘南イルド逗子保育園 施設長 高橋 妙貴
8	神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所	子ども相談課 課長 高橋 陽子
9	神奈川県鎌倉保健福祉事務所	保健福祉課長 山岡 明美
10		障がい福祉課長 黒川 恭祐
11	市職員	学校教育課長 小野 憲
12		子育て支援課長 伊藤 英樹
13	アドバイザー	東洋英和女学院大学 人間科学部保育子ども学科 平田 幸宏



逗子市こども発達支援センター ひなた



ひなた・くろーばー



こども発達支援センターひなたの概要

療育教育総合センター	
3階	教育研究相談センター 相談室、適応指導教室、研修室、事務室ほか
こども発達支援センター（愛称：ひなた）	
2階	療育部門（くろ一ばー） 相談室（2室）、プレイルーム（3室）、こどもトイレ、事務室ほか
1階	相談部門（ひなた） 相談室（4+2室）、待合室、PT・OT室、聴覚検査室、プレイルーム（2室）、事務室、会議室 ほか

平成28年12月に、0歳～18歳までの障がいのある子どもや発達に心配があり、支援を必要としている子ども及びその保護者に対する療育的な支援などを行う、本市の療育推進事業の拠点であり、中核的な支援施設として開設した。



センターにおける支援

～生活能力の向上を図り、子どもの可能性を広げる。～

相談部門（ひなた：市直営）～主に1階

- ・療育に関する相談（来所、電話、巡回相談）
- ・アセスメント、評価、説明（各種検査、経過観察グループ）
- ・個別支援（必要に応じた専門職による指導）
- ・勉強会、会議、コンサル等を通じた家族支援・関係機関との連携（くろ一ばー、教育研究相談センター、小・中学校、支援学校、幼稚園・保育所、障がい福祉課、子育て支援課、児童相談所、相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後児童クラブ等）

療育部門（くろ一ばー：県央福祉社会に業務委託）～主に2階

日常生活における基本動作の獲得や生活能力の向上のために、障がいや特性に配慮した個別支援計画を作成し、家族と協働しながら、児童発達支援や放課後等デイサービスなど障害児通所支援を中心とした専門的な療育（発達支援、家族支援、機関連携など）の支援を行う。



職員配置 (○内数字は人数)

相談部門 ひなた

○市直営

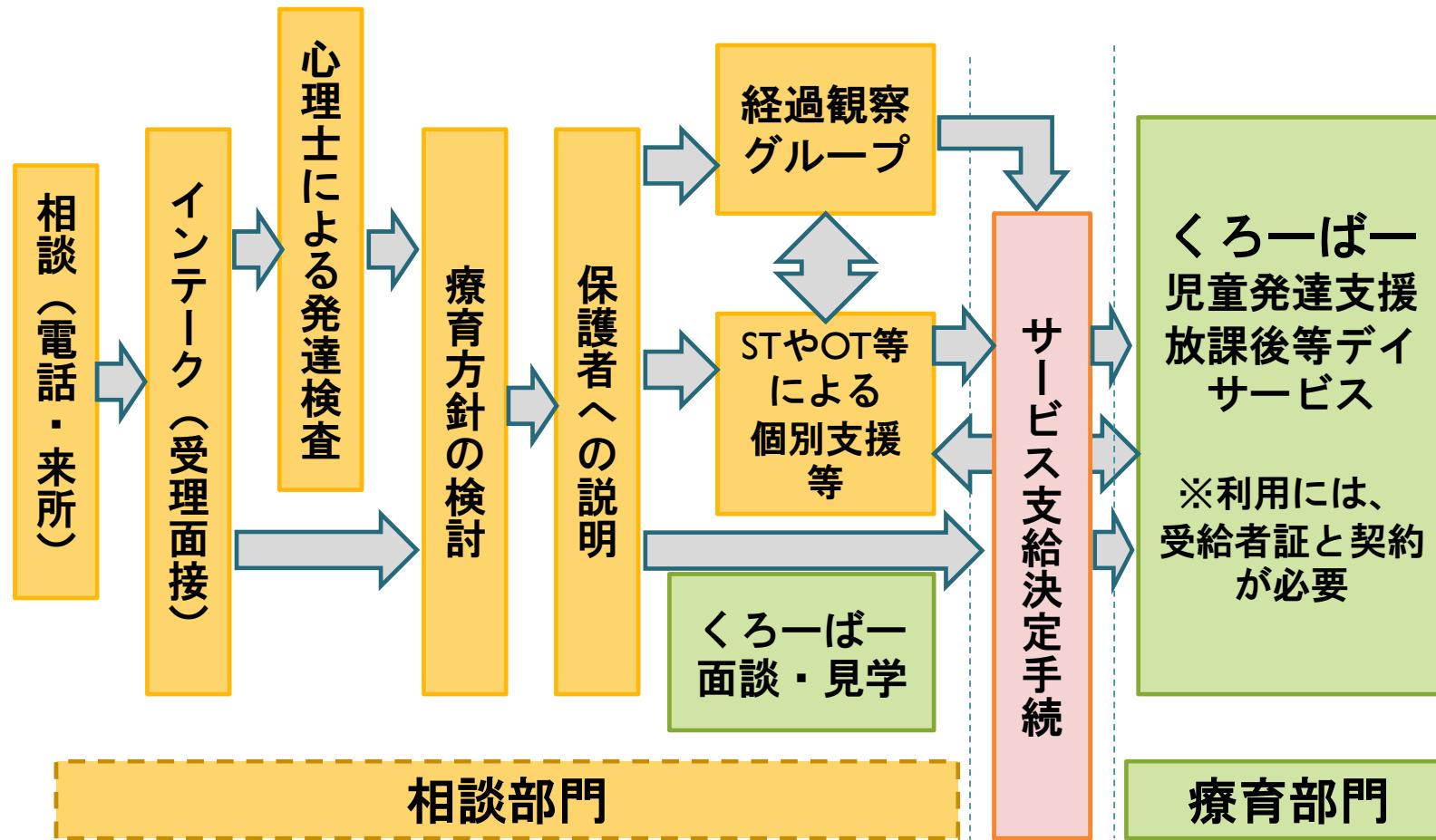
- 療育相談員②
- 学齢期相談担当①
- 心理士③
- 言語聴覚士④
- 理学療法士①
- 作業療法士③
- 保健師①
- 保育士② (内 療育相談員兼務①)
- 嘴託医③
(児童精神科医、リハ科医)
- 事務職員③

療育部門 くろーばー

○県央福祉会に業務委託

- 統括施設長①
- 園長①
(児童発達支援管理責任者兼務)
- 保育士④
- 児童指導員⑤
- 指導員①
- 看護師①
- 事務員①
- 運転手①

相談から利用までの主な流れ





相談部門ひなた 令和4年度の実績



令和 4 年度 相談部門ひなた

来所利用児童数



- 新規利用児童数

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
未就学	73	55	55	72
学齢	32	27	36	48
合計	105	82	91	120

- 繼続利用児童数（新規も含む）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
未就学	196	176	172	185
学齢	257	349	442	535
合計	453	525	614	720

（令和5年3月31日現在）



年齢別新規実人数

(令和5年3月31日現在)

年齢	実人数	年齢	実人数
0歳	4	10歳	3
1歳	9	11歳	2
2歳	12	12歳	6
3歳	14	13歳	1
4歳	15	14歳	1
5歳	18	15歳	1
6歳	22	16歳	0
7歳	2	17歳	0
8歳	5	18歳	0
9歳	5	合計	120

新規利用児童の紹介ルート

(令和5年3月31日現在)

	子育て支援課の健診からのケース			子育て支援課	障がい福祉課	教育研究相談センター	学校	幼保		HP	知人	その他	合計
	4ヶ月健診	1歳6ヶ月健診	3歳健診					巡回含む					
4月	1	0	0	1	0	1	1	2	3	1	2	12	
5月	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1	1	7	
6月	0	0	0	1	0	0	2	2	4	3	2	14	
7月	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	2	9	
8月	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	3	9	
9月	0	1	0	1	0	1	1	1	2	0	2	9	
10月	0	0	0	1	1	0	1	1	2	1	1	8	
11月	0	0	0	1	0	0	0	4	3	0	1	9	
12月	0	0	0	1	0	0	1	7	0	0	2	11	
1月	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	4	
2月	1	0	0	1	0	1	1	2	3	1	2	12	
3月	0	1	0	3	0	3	0	4	1	2	2	16	
合計	2	2	1	11	1	9	8	31	22	12	21	120	

※その他

(こども医療センター等医療機関、他市療育センター・児童発達支援センター・幼少期利用及び兄弟姉妹時利用等)



年齢別継続利用実人数

(令和5年3月31日現在)

年齢	実人数	年齢	実人数
0歳	5	10歳	69
1歳	11	11歳	48
2歳	29	12歳	28
3歳	39	13歳	27
4歳	48	14歳	27
5歳	53	15歳	15
6歳	75	16歳	13
7歳	66	17歳	6
8歳	88	18歳	9
9歳	64	合計	720

障がい種別実人数

(令和5年3月31日現在)

	身体障害手帳所持		療育手帳所持		身体障害手帳および 療育手帳両所持		身体障害手帳および 療育手帳未所持		
	未就学児	学齢児	未就学児	学齢児	未就学児	学齢児	未就学児	学齢児	合 計
身体障がいおよび その可能性	2	2	1	2	0	4	11	4	26
知的障がいおよび その可能性	0	0	2	28	0	2	4	17	53
言語障がいおよび その可能性	0	0	0	0	0	0	21	46	67
発達障がいおよび その可能性	0	0	0	1	0	0	141	418	560
その他	0	0	0	0	0	0	3	11	14
合 計	2	2	3	31	0	6	180	496	720

※その他、「発達障がいを伴わないとと思われる偏食の相談」「未歩行での相談後、歩行できるようになり相談終了」「育児相談」「交友関係の相談」「身体障がい・知的障がいの重複」等。



医療相談のべ人数

(令和5年3月31日現在)

児童精神科					リハ科				
相談		コンサル		合計	相談		コンサル		合計
未就学	学齢	未就学	学齢児		未就学	学齢	未就学	学齢	
18	20	2	0	40	15	2	0	0	17

※児童精神科：こども医療センターDr 隔月
横浜市大病院Dr 毎月

※リハ科：横浜市大病院Dr 毎月

※相談は、利用者の来所医療相談、コンサルは、ケースの支援について、センター職員がDrから助言等を受けたものを指す。

経過観察グループ人数

(令和5年3月31日現在)

	こぐまグループ (人)	こぐまプラス グループ (人)	ぱんだグループ (人)
第1期	3	4	
第2期	3		6
第3期	3		0
第4期	4		5
合計	13	4	11

- ・ こぐまグループ (1~3歳児) : 9:45~11:15 (全8回:親子)
- ・ こぐまプラス (3~5歳児) : 15:00~16:00 (全6回:前半2回親子、後半分離)
- ・ ぱんだグループ (3~5歳児) : 15:00~16:00 (全6回:分離)



令和4年度 相談部門ひなた

利用児童数
(来所利用児童含む)

職種別相談実人数

(令和5年3月31日現在)

	市内 人口	ケース 数	内 訳						
			相談員	心理士	言語 聴覚士	理学 療法士	作業 療法士	保育士	保健師
職員数		18	4	3	4	1	3	2	1
0歳	294	6	6	4	1	3	0	2	0
1歳	357	26	24	20	1	4	0	7	5
2歳	338	50	47	37	8	1	4	11	11
年少	367	70	64	44	18	1	13	11	11
年中	418	69	61	44	33	1	17	14	13
年長	397	73	66	55	40	1	24	5	6
小・低学年	937	93	90	64	34	3	31	0	8
小・中学年	989	55	51	38	8	1	13	0	6
小・高学年	996	39	39	27	3	0	4	1	2
中学生	1,512	35	33	28	7	0	1	0	4
義務教育 終了後	2,049	10	10	3	1	0	1	0	0
合計	8,654	526	491	364	154	15	108	51	66

(※重複利用あり。)



職種別相談件数

(令和5年3月31日現在)

	相談員	心理士	言語 聴覚士	理学 療法士	作業 療法士	保育士	保健師	合計
0歳	109	4	3	58	0	2	0	176
1歳	266	48	1	66	0	77	26	484
2歳	473	129	20	1	7	134	63	827
年少	583	181	96	5	26	73	38	1,002
年中	705	133	145	30	46	82	44	1,185
年長	1,015	160	376	11	61	22	12	1,657
小・低学年	673	175	104	16	81	0	8	1,057
小・中学年	289	132	29	1	34	0	6	491
小・高学年	245	109	49	0	15	1	2	421
中学生	163	98	52	0	1	0	4	318
義務教育終了後	96	4	1	0	7	0	0	108
合計	4,617	1,173	876	188	278	391	203	7,726

未就学児定期巡回相談件数（1）

（令和5年3月31日現在）

※巡回対応：年間3回の巡回相談において支援者支援の対象となった児童実数。

※センターケース：前年度3月末までにセンターを利用している児童実数。

順位	園名	在園数 (人)	巡回回数 (回)	支援を行った児童 実人数(人)		相談につな がった人数 (人)	支援を行った児童 のべ人数(人)	
				巡回対応	センター ケース		巡回対応	センター ケース
1	かぐのみ幼稚園 (3～5歳児)	174	3	21	10	3	30	16
2	第二逗子幼稚園 (満3～5歳児)	40	1	1	1	0	1	1
3	聖和学院幼稚園 (3～5歳児)	46	0	0	0	0	0	0
4	聖マリア幼稚園 (3～5歳児)	95	3	10	4	2	21	12
5	逗子幼稚園 (1～5歳児)	82	1	8	3	4	8	3

未就学児定期巡回相談件数（2）

（令和5年3月31日現在）

	園名	在園数 (人)	巡回回数 (回)	支援を行った児童 実人数(人)		相談につな がった人数 (人)	支援を行った児童 のべ人数(人)	
				巡回対応	センター ケース		巡回対応	センター ケース
6	湘南保育園 (0～5歳児)	72	3	10	5	0	17	11
7	小坪保育園 (0～5歳児)	70	3	14	0	2	28	0
8	双葉保育園 (0～5歳児)	180	3	10	4	3	13	7
9	沼間愛児園 (0～5歳児)	156	3	13	2	3	24	5
10	桜山保育園 (0～5歳児)	115	3	10	7	4	23	18
11	湘南アイルド 逗子保育園 (0～5歳児)	39	2	6	2	1	8	3

未就学児定期巡回相談件数（3）

（令和5年3月31日現在）

	園名	在園数 (人)	巡回回数 (回)	支援を行った児童 実人数 (人)	相談につな がった人数 (人)	支援を行った児童 のべ人数 (人)		
				巡回対応	センター ケース		巡回対応	センター ケース
12	逗子なないろ 保育園 (0～5歳児)	125	3	9	6	1	9	15
13	ごかんのいえ (1～2歳児)	21	2	3	1	0	4	2
14	しらかば逗子 乳児保育園 (0～2歳児)	22	0	0	0	0	0	0
15	第2あにえるち 保育園 (1～2歳児)	12	3	5	0	0	12	0
16	かぐのみ保育園 (1～2歳児)	19	3	2	2	0	3	4

未就学児定期巡回相談件数（4）

(令和5年3月31日現在)

	園名	在園数 (人)	巡回回数 (回)	支援を行った児童 実人数 (人)	相談につな がった人数 (人)	支援を行った児童 のべ人数 (人)		
				巡回対応	センター ケース		巡回対応	センター ケース
17	あにえるち 保育室 (0～2歳児)	5	0	0	0	0	0	0
18	ごかんのもり (3～5歳児)	31	1	4	1	1	4	1
19	うみのこ (3～5歳児)	27	0	0	0	0	0	0
20	LaLaLand逗子 (0～5歳児)	39	3	7	0	2	10	0
21	ココカラデザイン保育園 山本メディカル ひでまり園 (0～2歳児)	17	0	0	0	0	0	0
	合計	1,387	40	133	48	26	215	98

ケース巡回相談件数

(令和5年3月31日現在)

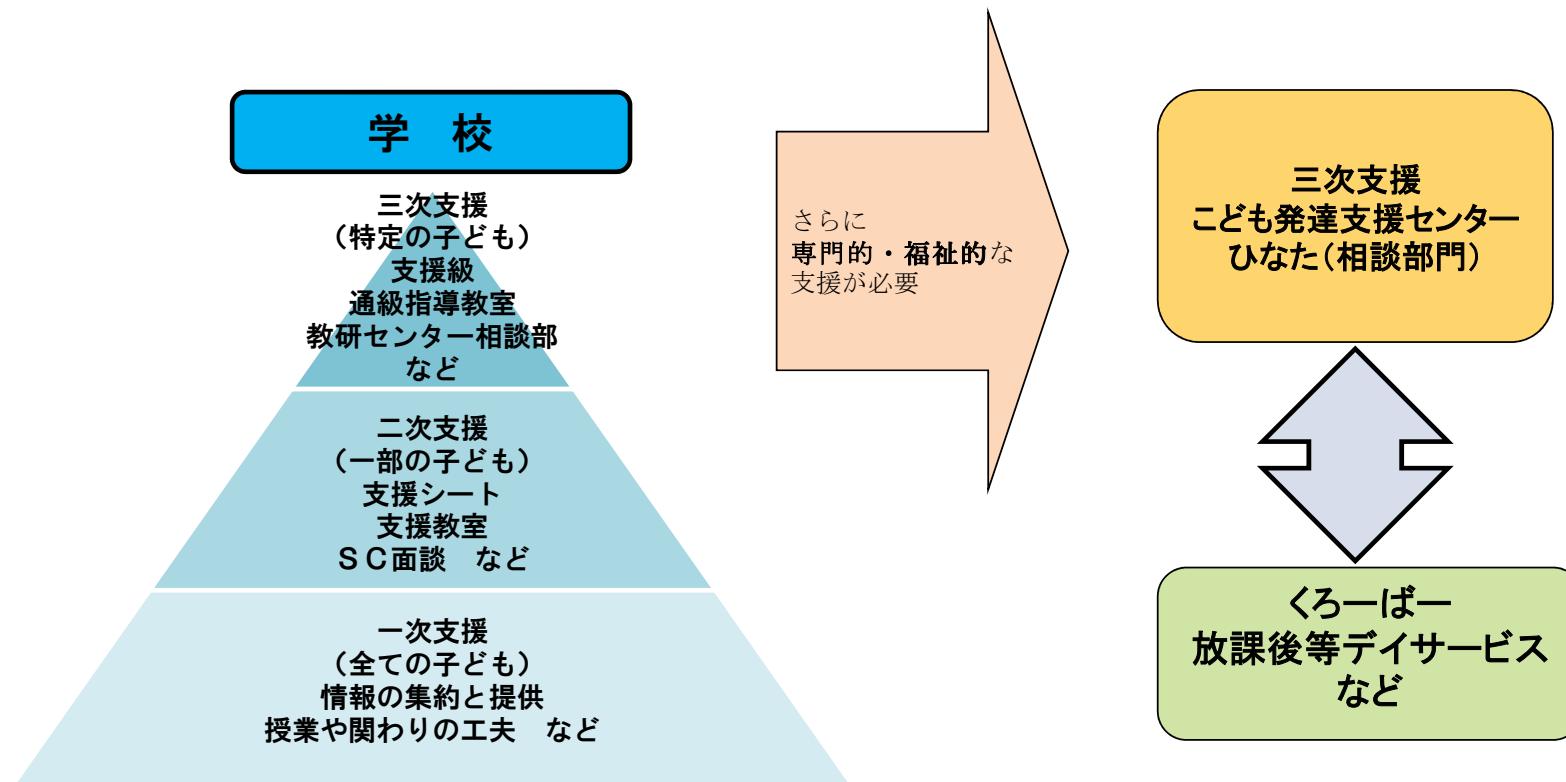
		回数	実人数	のべ 人数			回数	実人数	のべ 人数
①	逗子幼稚園	1	1	1	⑦	しらかば逗子 乳児保育園	1	1	1
②	かまくら幼稚園	2	12	24	⑧	葉山にこにこ 保育園	1	1	1
③	御国幼稚園	1	4	4	⑨	おうちえん Teracoya921	1	1	1
④	小坪保育園	1	1	1	⑩	コスモス インターナショナル スクール鎌倉校	1	1	1
⑤	双葉保育園	2	3	5					
⑥	桜山保育園	1	1	1		合 計	12	26	40

※市外の幼稚園の人数には、支援者支援の巡回相談の対象児童数も一部含む。
※かまくら幼稚園（3～5歳児：160名）は、R5年度より定期巡回対応。



学齢期における支援の流れ

～逗子における福祉と教育の連携～



学校との連携（1）

（令和5年3月31日現在）

※巡回は、市内公立小中学校への定期巡回およびケース巡回を含む。

※コンサルテーションは、先生方との情報共有、連携、支援方針の検討等をすべて含む。

※ケース会議は、学校の先生が出席する担当者会議を含む。

		巡回相談		支援シート作成		コンサルテーション	引継ぎ会議	ケース会議
		(回)	(件)	(件)		(件)	(回)	(回)
	※（ ）内の数字は支援級の児童数			年長児	学齢児			
1	逗子小学校 758 (23) 人	4	8	9	9	33	1	3
2	沼間小学校 556 (23) 人	1	5	8	1	6	1	0
3	久木小学校 659 (18) 人	1	3	7	1	69	1	6
4	小坪小学校 369 (9) 人	1	3	3	0	8	1	1
5	池子小学校 286 (15) 人	1	6	3	2	6	1	0
6	しおさい (通級) 50人	2	4	0	0	5	1	0
7	やまびこ (通級) 60人	0	0	0	0	0	1	0

学校との連携（2）

（令和5年3月31日現在）

		巡回相談		支援シート作成		コンサルテーション	引継ぎ会議	ケース会議
		(回)	(件)	(件)		(件)	(回)	(回)
				年長児	学齢児			
8	逗子中学校 345 (18) 人	0	0	—	0	0	0	1
9	久木中学校 536 (14) 人	2	2	—	0	3	0	1
10	沼間中学校 235 (6) 人	3	6	—	0	15	0	0
11	鎌倉支援学校	0	0	—	0	2	0	1
12	武山支援学校	1	1	—	0	5	0	0
13	追浜高校定時制	0	0	—	0	10	0	1
14	鎌倉女子大学 初等部	0	0	—	0	1	0	0
	合　計	16	38	30	13	163	7	14



講座・研修および ひなたファイルについて



*公開講座

『地域で作る子どもの笑顔～発達障がいの理解と対応のコツ～』

日 時：令和4年6月9日（木） 9：30～11：30

講 師：横須賀市療育相談センター所長 広瀬 宏之氏

参加者：来場 18名 ・ オンライン参加者 32名 計50名
(定員：来場 30名 ・ オンライン (zoom) 70名 計100名)



*ペアレントプログラム（全4回連続講座）

『子どもの育ちを支えるために

～0歳から6歳までの乳幼児の発達を知る～』

日 時： 第1回目： 令和4年9月29日（木） 10：00～11：30

第2回目： 令和4年10月13日（木） 10：00～11：30

第3回目： 令和4年10月25日（火） 10：00～12：00

第4回目： 令和4年11月7日（月） 10：00～11：30

講 師： こども発達支援センター 専門職

参加者： 7組（8名）（定員10名）

- | | |
|--|----------------|
| ・第1回目「乳幼児期の心の発達」 | 臨床発達心理士 |
| ・第2回目「ことばの育ちを支える土台作り」 | 言語聴覚士 |
| ・第3回目「気になる？乳幼児の運動発達」
「体感してみよう！感覚と動作の関係」 | 理学療法士
作業療法士 |
| ・第4回目「3回の講座を通して考える子どもの育ち」 | 臨床発達心理士 |



* 小学校就学に向けての家族勉強会

→先輩保護者から、就学までの経緯や入学してからの様子などの経験談を聞き、就学準備に活かすための勉強会。

①令和4年9月8日（木） 10:00～11:00

「通級指導教室について」

参加者：8名

（内訳：先輩保護者 2名、保護者 6名）

②令和4年9月22日（木） 10:00～11:00

「特別支援学級について」

参加者：11名

（内訳：先輩保護者 3名、保護者 8名）



*中学校就学に向けての家族勉強会

→先輩保護者から、就学までの経緯や入学してからの様子などの経験談を聞き、就学準備に活かすための勉強会。

- ・令和4年9月16日（金） 10:00～11:00
「中学校特別支援学級について」
参加者：8名
(内訳：先輩保護者 2名、保護者 6名)

ひなたファイル



逗子市では、お子さんの成長を応援する全ての人たちの共通理解のもと、一貫した支援ができるよう「ひなたファイル」を作成し、利用者に配布。ホームページにも掲載。



ひなたファイルの積極的な活用につなげるための取り組み

*ひなたサロン

→ひなたファイルを作成する場を定期的に設け、ひなたファイルの利用促進をするのと同時に、保護者同士の交流の場を提供をする。

日 時：毎月第3もしくは第4木曜日 10：00～11：00
参加者：のべ8名

*経過観察グループ

→ 経過観察グループの保護者プログラムとして、ひなたファイルの説明および作成の時間を設ける。

回 数：全8回
参加者：計28名



*ひなたワークショップ

→ひなたファイルの活用含め、育児の視点について心理士と一緒に
グループワークをし、ひなたファイルを作成する。

日 時：令和4年12月13日（火） 10：00～11：30

参加者：なし。

*関係機関への周知。

→幼保小連携会議、コーディネーター担当者会議、オープンデイ、
巡回等で支援者に周知する。



こども発達支援センター運営改善案への 令和5年度の取り組み

*重点事項

- ・センターにおける支援の充実のための体制整備
 - 1. 「センター内の支援方針の整理、共有」
 - 2. 「センター職員内での共通理解、共通認識を深める取り組みの実施」
 - 3. 「相談部門と療育部門のさらなる連携強化」



1. 「センター内の支援方針の整理、共有」
2. 「センター職員内での共通理解、共通認識を深める取り組みの実施」
 - ・定例会の活用。
 - ・年3回の相談部門の全体会議。
 - ・担当業務ごとのふりかえりの実施。
 - ・専門職ごとの打ち合わせの実施。等。



3. 「相談部門と療育部門のさらなる連携強化」

- ・センター運営内容に関する定期的な打ち合わせ。
 - ・連携相談員とのケース連携。
 - ・相談部門専門職の療育見学およびケース連携。
 - ・支援者や関係機関へ向けた「こども発達支援センター」としての情報発信の強化。
- 等。



* その他の取り組み

- ・利用者に対する丁寧な聞き取りを行ったうえでの評価・分析
- ・センターの相談の流れのフローチャート作り。
(支援方針や支援の流れの「見える化」)
- ・社会資源（医療機関、児発、放デイ等）の一覧表の作成。
(必要とする情報の的確な発信)
等。



* その他の取り組み

- ・ 関係機関との密接な連携
- ・ 関係機関が主催する会議および巡回相談等でのセンター機能の情報発信。
- ・ オープンディイ等を利用したセンター機能の情報発信。
- ・ センター外での支援体制の強化
→子育て支援課との新規事業の試み。
等。

療育部門くろーばー

令和 4 年度の実績

児童発達支援事業

登録児数(各月1日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通園クラス	にじ組	11	11	11	10	10	10	10	10	10	11	11	11	10.5
	おひさま組	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
	ほし組	7	7	7	8	8	10	11	11	11	11	11	11	9.4
通園クラス合計		23	23	23	23	23	25	26	26	26	27	27	27	24.9
午後クラス	いるか	0	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2.1
	くじら	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
午後クラス合計		5	6	6	7	7	7	7	8	8	8	8	8	7.1
登録児数合計		28	29	29	30	30	32	33	34	34	35	35	35	32.0

定員数からみた利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数 (通園クラス+午後グループ)	19	19	23	17	22	17	20	22	19	18	21	21	238
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
延べ利用児数	117	118	158	114	121	110	132	136	135	126	117	136	1,520
利用率 延べ利用児数/(開所日数×定員)	62 %	62 %	69 %	67 %	55 %	65 %	66 %	61 %	71 %	70 %	56 %	65 %	

定員数からみた平均利用率 = **64%**

登録児数からみた利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ登録児数	143	139	178	134	162	127	172	170	161	157	149	182	1,874
延べ利用児数	117	118	158	114	121	110	132	136	135	126	117	136	1,520
利用率 延べ利用児数/延べ登録児数	82 %	85 %	89 %	85 %	75 %	87 %	77 %	80 %	84 %	80 %	79 %	75 %	

登録児数からみた平均利用率 = 82%

通園クラス利用児の年齢及び性別(令和5年3月末)

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
1歳児	0	0	0	0%
2歳児	1	2	3	11%
3歳児	7	1	8	30%
4歳児	8	2	10	37%
5歳児	3	3	6	22%
合計	19	8	27	100%

午後クラス利用児の年齢及び性別(令和5年3月末)

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
1歳児	0	0	0	0%
2歳児	0	0	0	0%
3歳児	0	0	0	0%
4歳児	2	1	3	38%
5歳児	5	0	5	62%
合計	7	1	8	100%

放課後等デイサービス事業

登録児数(各月1日現在)

定員数からみた利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	19	20	23	18	23	18	21	21	20	19	18	21	241
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
延べ利用児数	99	127	144	104	102	105	111	116	107	110	106	123	1,354
利用率 延べ利用児数/(開所日数×定員)	52 %	64 %	63 %	58 %	44 %	58 %	53 %	55 %	54 %	58 %	59 %	59 %	

定員数からみた平均利用率 = 56%

登録児数からみた利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ登録児数	163	191	219	162	223	150	200	197	186	180	164	195	2,230
延べ利用児数	99	127	144	104	102	105	111	116	107	110	106	123	1,354
利用率 延べ利用児数/延べ登録児数	61 %	66 %	66 %	64 %	46 %	70 %	56 %	59 %	58 %	61 %	65 %	63 %	

登録児数からみた平均利用率 = 61%

利用児の年齢及び性別(令和5年3月末)

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
6歳児	3	0	3	6%
7歳児	7	3	10	19%
8歳児	5	0	5	10%
9歳児	4	2	6	12%
10歳児	7	1	8	15%
11歳児	1	2	3	6%
12歳児	1	2	3	6%
13歳児	2	0	2	4%
14歳児	3	3	6	12%
15歳児	3	1	4	8%
16歳児	0	1	1	2%
17歳児	0	0	0	0%
合計	36	15	51	100%

逗子市こども発達支援センターの運営改善案への 取り組みと結果

アンケート調査結果から整理・分析した 課題に対する改善

療育部門 くろーばーに係る課題 1

◆ アンケートからのご意見

- ・月2回だと少ない気がする
- ・週1回利用できるとよい

◆ 改善点

ご意見の趣旨は、放課後等デイサービスを対象とするものと予測

- ・頻度:月2回 ⇒ 週1回
- ・利用定員:5名 ⇒ 10名

◆ 結果

	令和3年度	令和4年度
年間利用延べ人数	636人	1,354人

療育部門 くろーばーに係る課題 2

◆ アンケートからのご意見

- ・専門的な職員の配置

◆ 改善点

- ・臨床心理士を雇用:月2回
- ・法人より理学療法士(PT)を派遣:年6回

◆ 結果

	個別相談	療育見学会	職員助言
臨床心理士業務内容	6件	7回	18回
	個別相談	職員研修会	職員助言
理学療法士業務内容	1件	2回	6回

センター全体に係る課題 1

◆ アンケートからのご意見

- ・利用していない方でも気軽に相談できるイベントなどが定期的にあるといいと思う

◆ 改善点

- ・保育所・幼稚園の職員を対象とした支援者支援の拡充

◆ 結果

- ・障がい児保育勉強会の開催(午後6時～7時30分)

	6月10日	9月21日	12月21日	3月1日
内容	障がい児保育を考える	発達障害の基礎	質問に答えて	保護者支援について
参加人数	19名	28名	29名	15名

※令和5年度からは、こども発達支援センターとして開催

センター全体に係る課題 2

◆ アンケートからのご意見

- ・保護者が平日に働いている家庭では、十分な支援が受けにくいと思う

◆ 改善点

- ・土曜日の療育活動を拡充

◆ 結果

- ・児童発達支援事業

保護者のグループワークを取り入れた療育活動を計7回開催
延べ25組の参加（令和5年度は10回開催予定）

- ・放課後等デイサービス支援事業

自立した社会参加に向けたプログラム（地域での外食、買い物、余暇等）
を計11回開催、延べ103人の参加（令和5年度は14回開催予定）

現在の運営状況に対する改善

療育部門 くろーばーについて

◆ 課題となる点

- ・強みとする支援に関する発信力の強化
- ・「ふりかえりの時間」の質的向上

◆ 改善点

- ・発信力の強化
SNS等を活用し、定期的に情報発信することを軸に準備中
- ・「ふりかえりの時間」の質的向上
職員を中心とした「改善委員会」を常設し、継続的に検討
園長や主任などによる「ふりかえりの時間」の実践検証を実施

終わりに

療育部門 くろーばー
独自の取り組みについて

今年度の放課後等ディサービス事業重点項目

青年期、成人期の自立した生活を念頭においた活動の積極的な導入

【利用児に対しては】

- ・自ら選択した体験学習の取り組み(アンケート実施済み)
(販売、飲食系、農業、部品組み立て、事務、介護・保育、清掃等)
- ・公共交通機関を含めた自力利用に向けた取り組み
- ・日々の療育に軽作業的活動を導入
(ピッキング、組み立て、作業報告等)

【保護者に対しては】

- ・福祉事業所等の見学を実施(アンケート実施済み)
(就労支援施設、特例子会社、一般企業、グループホーム、通所施設、短期入所等)



